

第2回車座トーク（5月30日 大田市）でいただいたご意見に  
 対する県の対応 テーマ「ビジネスチャンスをつかみ、活かしていくには」

1. 来年度に新たに実施または拡充するもの

いただいたご意見	対応状況
※ なし	

2. 実施に向けて検討しているもの

いただいたご意見	対応状況
※ なし	

3. 既に実施しているもの

いただいたご意見	対応状況
<p>とにかく人手不足。フルタイムだけでなく、パートやアルバイトも確保できない。アイデアはいっぱいあるが人がいなくてできない。</p>	<p>中高年齢者向け就職相談窓口や女性向け就職相談窓口を松江市、浜田市に設置するなど多様な人材の活躍促進や、人材確保育成コーディネーターの配置による若者の県内就職促進に取り組んでいます。</p> <p>また、シルバー人材センターの活動も支援しています。</p> <p>今後もこうした取組の周知を図り、県内企業等の人材確保を支援していきます。</p> <p>また、若者の県内就職促進に向けては、令和元年12月に県の大阪事務所、広島事務所に新たに学生就職アドバイザーを配置するなど体制の強化を図りました。</p> <p>県内就職に向け、きめ細かな企業情報や交流機会の提供を行い、県内外の学生の県内就職に向けた取組も強化してまいります。</p>
<p>今は、高校でアルバイトが禁止されているため、社会に出る前に働く経験ができない。そのため、職場でコミュニケーションがとれない新入社員が多く、孤立して辞めていく者もいる。</p>	<p>これまで「明日のしまねを担うキャリア教育推進事業」のインターンシップの取組を通じ、県立高校生が学ぶことと生きていくこと（働くこと）の関連性について理解を深めてきました。</p> <p>今後も社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を身につけさせる取組を推進いたします。</p> <p>また、質の高いインターンシップが実施できるよう支援を行ってまいります。</p>
<p>離職率を下げるために対策が必要。そのために職場体験のやり方も工夫が必要。</p>	<p>新入社員や若手社員を直接指導する職員等を対象とした研修を実施しております。</p> <p>また、企業等が取り組む人材育成や就労環境の整備を支援する制度については、来年度から対象事業者を広げるなど支援を強化していきます。</p> <p>今後も中小企業等に対して、こうした制度の周知を図り、社員の職場定着を支援してまいります。</p> <p>さらに、県内大学等やふるさと島根定住財団で実施しているインターンシッププログラムの充実を図り、学生が企業を深く理解した上で就職活動できるように支援します。</p>
<p>高齢者に特化した街づくりをしてはどうか。リタイヤした人たちにUターンしてもらい、登録しておいて、電話一本で来てもらえるような</p>	<p>60歳以上の高齢者を会員とするシルバー人材センターでは、高齢者の希望や能力に応じた仕事を提供しています。</p>

<p>高齢者の派遣会社のようなものをつくって、働き手を確保する。</p>	<p>シルバー人材センターでは、庭木の剪定や草刈りなど単発的な業務の請負のほか、保育所や介護施設での補助的な業務やスーパーマーケットでの商品陳列など比較的従事期間の長い業務への人材派遣も行っています。</p> <p>今後も高齢者の地域での活躍の場が広がるよう、シルバー人材センターの活動の周知を図ってまいります。</p>
--------------------------------------	--

**4. 今後の取組を検討するうえで参考とさせていただきご意見**

- ・外国人が増えてきているので、アルバイトなどで就労してもらいたいという思いがあるが、実現していない。ワーキングホリデーで来日する方も対象として有効ではないか。

**5. 現時点では取り入れることが難しいご意見**

※ なし